

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	環境システム学科
・ 学年(渡航開始時)	3
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	ジョホール・バル
・ 留学先大学名	マレーシア工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) <input type="text"/> プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) <input type="text"/>
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	マレーシアは多民族国家であり、日本と違う様々な面を体験できると考えたためです。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	3年時から国際プログラムに加入したためです。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、講義はほとんどが英語で行われ、3人～6人で行われるグループ課題も必ずありました。概要を記載してください。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	PLANNING LEGISLATION	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	マレーシアにおける都市の法規を実例を踏まえて学ぶ科目でした。		
科目名②	EMERGENT TECHNOLOGY AND URBAN CHANGE	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	現代の都市における問題点や解決策をデータなどを通じて調べ、プレゼンで発表する科目です。		
科目名③	MALAY LANGUAGE FOR COMMUNICATION 2	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	日常的なマレー語を講義で学習し、また6人ほどのグループでプレゼンなどを行います。		
科目名④	PROFESSIONAL COMMUNICATION SKILLS 1	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	エッセイなどを書く際に、引用などの注意すべき点を講義の中で学びます。また3人ほどのグループを組み、一つの分野について協働でエッセイを仕上げていきます。		
科目名⑤	ENVIRONMENTAL SCIENCE AND SUSTAINABILITY	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	主に建築にパッシブ・デザインに焦点を当て、環境を考慮した際にどのような効果が暮らしに適應されるかなどを学修していました。		
科目名⑥	FINANCIAL MANAGEMENT	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	規模による企業の特徴や売り上げなどの算出を講義を通して行います。また、グループワークによって現代の市場で用いられている計算ソフトを調べ、メリットなどを調べていきます。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。英語の良し悪しに関わらず、日常生活で積極的に話しかけていくことは少なからず今後の生活においてプラスになっていきます。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦勞があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)留学で感じた事として、とにかく行動をすれば何かしらの見返りが得られるといったことが挙げられます。例えば、たまたまロビーで出会った人と友人になり、それから一緒に旅をするといったことなどが挙げられます。

留学手続き時に苦勞した点

- 協定校への出願時に苦勞した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など) 学内の寮や科目の手続きにおいて、返信が遅かった点が苦勞しました。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦勞した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など) (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。) ビザの申請においては大使館も関係するので、とにかく早く行動し完了させてください。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。 ビザの申請でも記しましたが、余裕があるくらい早く完了させてください。精神的にも余裕がうまれます。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等) 初めの二ヶ月半ごろは構内のホテルに宿泊し、その後は留学生専用の寮へ泊っていました。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) 初めのホテルは留学先のサイトから登録をし、二回目の寮については友人によりオーナーを紹介してもらい、そこから手続きなどを行いました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。 空港前に停車していたタクシーに乗り、移動しました。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。 無料のシャトルバスや徒歩で移動していました。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 一つ目のホテルにおいては、エアコンと机の無い部屋だったので住み心地はあまり良いものではありませんでした。対照的に二回目の寮にはエアコンと机に加え、共有のキッチンが備えられていました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥30,000	Personal bondと呼ばれ、帰国する際に返済されました。
往復航空券代(往復)	¥60,000	羽田空港、クアラルンプール国際空港またセナイ国際空港を含めた値段です。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥90,000	大学指定の保険に加入しました。
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥50,000	自主的に受検した英語の試験の大まかな値段になります。
計	¥230,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥23,000	一度目、二度目の寮の大まかな平均の金額です。
食費/月	¥25,000	自炊や外食が半々だった場合です。
その他/月	¥50,000	マレーシアの様々な都市やマレーシア以外の国へ行く時への費用です。
計	¥98,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥70,000	毎月の後半に頂いておりました。
計	¥70,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

UTM JBの中心部に位置するMasjid Sultan Ismail, Universiti Teknologi Malaysiaです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

宿泊先であるGlobal Residenceの外に備えられている机で本を読んでいる写真です。

その他、任意の写真



説明文

KukupにあるTanjung Piai National Parkで撮ってもらった写真です。

その他、任意の写真



説明文

PenangにあるGeorge Townで撮影した写真です。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	生命科学科生命科学コース
・ 学年(渡航開始時)	3年後期
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	ジョホールバル
・ 留学先大学名	University of Technology Malaysia (UTM)
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2023年9月中旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2024年2月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	マレーシアのクアラルンプールには芝浦工業大学の職員の方が滞在しており、マレーシアは自分に万が一のことがあったときの対応を速やかに受けれる地域だと判断したためです。そして、マレーシアにはいくつかの協定校がありますが、過去UTMに留学した芝浦の先輩が多く、UTMの先生に芝浦を卒業した先生もいらっしゃるごとの2つがUTMを選択した理由でした。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであったり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムに所属しており、休学をせずに留学をすることが出来ました。その代わりに、国際プログラムでは留学中に単位を11単位以上取得する必要がありました。また、自分の場合は教職課程も同時に履修しており、その関係で3年前期には卒業単位を全て取り終えていました。そのため、留学中の単位を十分に取れなかった場合には、一般プログラムに移り、そのまま卒業すれば良いという考えもありました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

いくつかの授業でいきなりマレー語が英語の中に混ざってくる場面がありました。しかし、基本的には英語で全て授業は行われるため、問題にはなりません。一方で、UTMは工科大学なため、生命科学科生命科学コースのように生物学を学びたいという人には向いていないと感じました。渡航前の自分はなんとかかなと思っていたのですが、グループワークやテストに度々工学的な知識を問われる場面があったので、そこに対応するためにとても苦労しました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Biomedical Imaging	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	CTやMRI、Ultrasoundなど画像診断に使用される機器の構造から仕組みまでかなり詳細に学びます。グループワークが2つあり、それぞれ配点が30%と15%であり、それだけで単位取得に必要な点数である40点のほとんどは確保できます。しかし、それだけ他の学生とのコミュニケーションも重要になります。テストはTest1が10%、Final Examが40%と結構な割合を占めています。また、全て記述式であるため、授業で学んだことを理解した上で、部品の名称などを英語で覚え、自分の英文におこすことが求められます。		
科目名②	Engineering Mathematics I	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	大学数学というより高校数学の発展というような授業です。単元は双曲線関数、逆関数、微積分、ベクトル、数列、複素数、極形式など多岐に渡るため、数学が苦手な場合はかなり大変かもしれません。しかし、高校数学が得意だった人は数学的な勘でテストや課題を楽に乗り越えやすい授業です。関数電卓は必須です。		
科目名③	Human Anatomy Physiology	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	名称の通り解剖学と生理学に関する授業です。この授業では覚えるべき単語の数が異常であり、かなりハードな予習と復習が求められます。例えるならば、高校生物で学んだ単語や知識に加え、医工学的な領域まで全て英語で理解することが求められるイメージです。現地のパティもこの授業はとて難しいと話していたので、よほど興味がなければおすすりはしません。		
科目名④	Introduction of biomedical	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	他の科目が全て3単位で週2日(2時間:1日、1時間:1日)に対し、この授業は2単位で週1日(2時間:1日)というスケジュールでした。授業では、担当の教授が医工学の初歩を丁寧に解説をするというもので、テストはなく、グループワークと個人課題でのみ評価がされます。また、UTMがあるジョホール内の病院で見学が出来るなど他の授業とは違う経験が出来る授業です。単位数の関係と授業の内容の両面から自分にとってよかったと思う授業でした。		
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

UTMの授業が始まる1週間前ほどに留学生全体でのキャンパス周辺のツアーがあったり、UTM International (国際部みたいなもの) が主催する希望性の留学生のみの旅行などのイベントがあります。自分はこのようなイベントで知り合った留学生との交流の方が現地の学生との交流より多かったです。これは現地学生は現地学生同士でマレー語や中国語でやり取りしていることが私の学科では多かったからかもしれませんが、..

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

前提として、今自分が置かれている環境や関係を崩したくないという人は留学を自分はお勧めしません。いい意味でも悪い意味でも時間は周りとの関係性を大なり小なり変えます。つまり、現状に満足している人は留学に行かないという選択肢も自分にとってはいいと思います。それは逃げでもないと思います。
そして、自分を変えたいと思っている人は留学をお勧めします。留学はある意味日本の環境と隔絶されると言ってもいいと思います。そのため、自分の力で生き抜く力は間違いなくつきます。英語を含めた勉強のみならず、暮らし全体に学びの機会はたくさんあります。そして、それは日本に帰国してから必ず役に立つと自分は思います。例えば、お金に対する価値観や食生活に対する意識などの暮らしに対する学びであったり、他国の宗教に対する価値観や時間や仕事に対する意識などの社会に対する学びであったり様々です。
(ちなみに留学前のある程度の専門用語は覚えていった方がいいです！自分は苦労しました...)

留学中にどうしようもないほど追い詰められてしまつたら帰国しちゃっていいんです。長い人生に多くある分かれ道を途中で引き返すことに何も悪いことはありません。自分はそのメンタリティで留学に旅立ちました。世の中ある程度のこととはなんとかなります。留学も同じです。
留学することを既に決めた人、まだ留学をするか国際プログラムを続けるか悩んでる人、全員の選択がそれぞれ正しいと思います。応援してます！

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

とにかく提出する書類が多いです。自分は同時期に他にもやるのがいくつか重なってしまっていたので、締切の管理に苦労しました。また、UTMに提出する書類の中に自分の学科の担任または指導教員に記述をしてもらわないといけないものがあります。これにも締め切りがあるので、UTMから届いたらすぐにメールを送り、書いてもらうことを意識しておく必要があります。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

マレーシアの学生ビザ申請はかなり複雑であるため、自分でよく調べる必要があります。そして、それに記載されている手続きが終わり次第、渋谷にあるマレーシア大使館に自分で2度足を運んでまた手続きをする必要があります。これら全部で大体3週間前後はかかりますし、これらを渡航前に全て完了させなければ入国出来ないため、余裕をもってビザ申請をすることはマレーシアはオススメです。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

マレーシア大使館に入れる時間は、ビザ申請の場合は平日午前のみ、ビザ受取の場合は平日午後のみなので注意してください！

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

寮
(Scholar's InnというUTMのキャンパス内にある寮とホテルの中間のような部屋でした。)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

UTMから紹介があった3つの宿泊先を自分でメールを送ることで予約しました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。

Grab (日本でアプリをダウンロードしていくことをオススメします)
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

授業がある建物が授業ごとに異なりますが基本は徒歩(大体15分前後でした。)
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

家具が一切ついていないので、最初は広く思えます。しかし、机などを現地で確保していくと手狭に感じるようになりました。また、自分はエアコン付きの部屋の空気がないとメールで言われましたが、実際にフロントに行って聞くと空気があったりと部屋の変更は対面の方がしやすかったです。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥61,839	UTM Student Fees
往復航空券代(往復)	¥145,000	国際線はマイルを使っているため、サイトを参考にしました。HND(NRT)→KLIAの国際線(ANA)とKLIA→JHBの国内線(マレーシア航空)の2つを使用しました。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥89,670	大学から紹介される保険に留学期間全体で加入しました。
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥24,119	ビザ申請過程のEMGSという機関のサイト上で支払いました。
計	¥320,628	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥40,000	途中で部屋を変えましたが、長く住んでいた方はRM40/日でした
食費/月	¥34,962	最初外食が多かったため、少し高い平均となっております。全て自炊をするようになってからは、28,360/月でした。
その他/月	¥32,051	シンガポールへの旅行やIHヒーターなどの家電なども含んでいます。なので、初期投資を除くと月々は少ないです。
計	¥107,013	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥70,000	渡航前に申請をする必要があります。
計	¥70,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

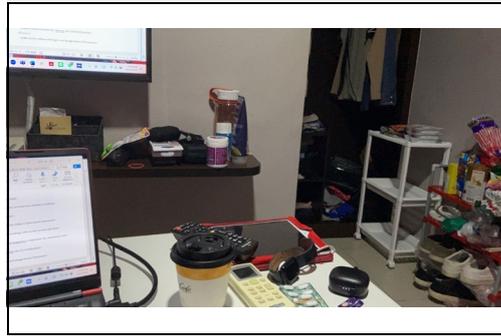
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

背景は大学の中心にある丘上のモスクです。
モスク周辺にはカフェや図書館があり、休日はこの周辺に行くことが多かったです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

ベッドシートなど家具が全てないので、全て現地調達しました。窓が完全に閉まらなかったため、たまに虫が入ってきました。しかし、エアコンもあり、風呂トイレが共用でないため、キャンパス内では一番いい部屋だと個人的には思います。

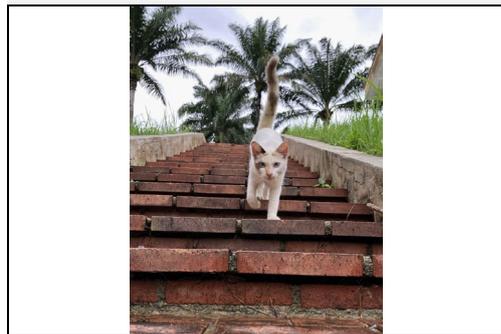
その他、任意の写真



説明文

無事にFinal Presentationが終わると、祭でした。
講堂が一気にライブ会場に変化しました。
グループワークの時に言われた「We need to cooperate.」は今でも夢に見ます...

その他、任意の写真



説明文

キャンパス内には猫がたくさんいます。とにかく皆かわいいので、愛でて留学中のストレスを和らげましょう！
万が一のためにも、狂犬病に感染しないために噛まれないようにしましょう！！

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学年(渡航開始時)	修士1年生
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	クアラルンプール
・ 留学先大学名	マレーシア工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) <input type="checkbox"/>
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	まず、マレーシアを選んだ理由は英語が使える比較的安く留学ができる点です。この協定校にした理由は、クアラルンプールに行けるという点やマレーシア国内でかなりレベルが高い大学であるという点です。実際、勤勉な学生が多く、皆様がイメージしている留学環境を提供してくれると思います。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	進学前に指導教員に事前に相談済みだったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

講義を4つまで選択できたため、私の興味のある講義を選択し受講していました。また、研究室配属はありませんでしたが、個人的に教授にコンタクトをとり、活動に参加させていただきました。講義は、週に1回あるものと週に何度かあるものがありました。そのため、芝浦と同様に、講義の時間は出席し、空いた時間で研究室に参加していました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	FUNDAMENTALS OF MICROBIOLOGY AND BIOTECHNOLOGY	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	マレーシア工科大学で研究が行われている企業の方にお話をお聞きしたり、体内の代謝などについて英語で勉強をした。また、実際の食中毒事例などを課題で出されたりもして、実践的な講義であった。		

科目名②	ORGANIC CHEMISTRY 1	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	様々な化学反応について活用されている例と一緒に学習をしていた。本学で学習できる有機化学のようなものであるが、こちらの講義もまた活用事例等をまとめたりパワーポイントで発表するなどの実践的な講義であった。		

科目名③	MALAY LANGUAGE FOR COMMUNICATION2	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	先生が実際に使われている単語やフレーズを紹介し、それを講義内で実際に使ってコミュニケーションをとるという講義であった。講義中はかなり生徒からの発言やアクション等があり、活発にマレー語などでコミュニケーションをとっていた。最後の課題でマレー語で動画撮影をし、編集をして提出するというもので、珍しかった。		

科目名④	APPRECIATION OF ETHICS AND CIVILISATION	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	マレーシアの文化や問題点、宗教などを英語で受講する講義である。マレーシアの政策が日本にとっても影響を受けていたという点やインド、中華系の人口がかなりの割合を閉めている点から、様々な国の人の文化を発表する課題もあった。		

科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
------	--	----------------	--

科目概要

科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
------	--	----------------	--

科目概要

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

マレーシアはとてもフレンドリーな方が多いです。自分から話しかければ片言な英語でも意図をくみ取ってコミュニケーションをとってくれます。また、マレーシアの人は食事をシェアする文化もあるので、いろいろな美味しいご飯を紹介してくれると思います。基本困っても質問すれば答えてくれる人たちがばかりなので、心配しなくても大丈夫です。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。

(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

私は留学に行く直前に病気で出発が遅れてしまったり、寮の担当者と連絡がつかなかったことからぎりぎりまで滞在先が見つからないなど、とても心配な出発となりました。しかし、マレーシア工科大学の担当の方は、遅れた私を歓迎して下さり、わからないことを親切に教えてくださいました。また、生徒の方々も、私から話しかければ、気さくに話してくれました。時にはドライブやバーベキューに誘ってくれて、たくさんの方のおかげで有意義な留学にすることが出来ました。

私は当初、現地の講義を英語で受けることで、将来海外でも仕事が滞りなくできる力をつけたいと考えていました。しかし、留学直前のトラブルなどで、目的が達成できないと考えていました。しかし、たくさんの方やイベントなどを通して、コミュニケーションスキルを身に付けることが出来ました。また、同じマレーシア工科大学に留学に来ている様々な国の生徒と授業や寮とともに生活した結果、いろいろな文化に対する理解が深まりました。当初の講義を受講するという目的は中途半端になってしまったかもしれませんが、多くの方のおかげで日本にいただけでは身につかない考え方を身に付けることが出来ました。

このように、留学直前でトラブルに見舞われても、優しい方々が助けてくれることが多いと思います。留学はとても心配に思われる方も多いと思いますが、行ってしまえば住めば都、現地の環境やルールにすぐ順応できます。英語力も正直この時代心配いりません。マレーシアは正直とても訛りが強い国ではありましたが、伝わらないときはスマホのタイピングで意思伝達できましたし、1か月も滞在すれば現地の英語も聞けるようになりました。費用面も芝浦工業大学がとても良い奨学金を準備してくれています。あとはあなたの行動次第だと思います。これを見ている方々は少しは留学に興味がある方だと思いますので、少しでも興味があればまずは留学の説明会を聞いてみてはいかがでしょうか。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

この大学は、キャンパスが2つあり主にジョホールバルという都市なのですが、学部によってはクアラルンプールになるので注意しましょう。そのため、受け取った書類をよく読み、出願しましょう。また、寮はかなり早い段階で予約で埋まってしまうため、なるべく迅速に、できれば出願前に国際部の方々に相談するのが良いと思います。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

上記のキャンパスのミスはかなりやりがちで、ミスしてしまうとビザ申請が滞ってしまうため本当に注意しましょう。また、ビザは向こうの都合で日程が大幅に伸びたり、書類を受け取る日時が遅い場合があるので、できれば受け取った当日、またはその週に手続きを完了させましょう。また、パスポートも更新日時などを把握しておきましょう。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

何事も早め早めで行動しましょう。私のように急病で手続きが遅くなってしまう場合もあります。また、事前にその国の人のライフスタイルなどを学んでおけば、手続きの際のやり取りを安心して行えると思うのでそういった面も調べておきましょう。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の、ホテルが一体となった寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

連絡手段が直接申し込みに行くか担当者のwhatsappというSNSしかないため注意。国際部に現地にいる方の連絡先を教えてください、その方から担当者の連絡先をお伺いしましょう。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか?
交通手段や所要時間を教えてください。

電車
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか?交通手段や所要時間を教えてください。

徒歩3分
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

寮はFull furnishedと記載されていますが、シーツや枕カバー、ドライヤーなどはないため注意。おススメは、クアラルンプール中心街にあるIKEAで購入するか、現地の方と友達となって教えてもらいましょう。価格は日本より安いと思うので安心してください。朝、礼拝の音声が爆音で起こされる場合もあります。生活サイクルが改善されると割り切って生活しましょう。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥15,000	初期登録費用等でリンギットでお支払いしました。
往復航空券代(往復)	¥70,000	円安の関係で費用的には昨年と比べて少し高くなりました。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥60,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥30,000	ビザ等はリンギット支払いなので、注意が必要です。
計	¥175,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥34,000	マレーシアのホテル型寮でカード支払い可能でした。
食費/月	¥50,000	物価が安いので、食べ過ぎなければ一日当たり1000円で済みます。
その他/月	¥15,000	観光に使ったり、友達とドライブやキャンプをしました。
計	¥99,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥70,000	
計	¥70,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

ネットで調べられると思うので、研究室の写真を掲載します。いろいろな機器や試薬があり、実験環境はかなり良かったと思います。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

ダブルの部屋に一人で滞在しました。写真の通りシーツや枕カバーはありませんでした。プライベートな空間が確保できるので安心して留学が出来ました。

その他、任意の写真



説明文

友人と夜散歩した際に撮影したくあらんプールの夜景です。都市部にも電車でアクセスできる立地にあるため、よく遊びに行っていました。

その他、任意の写真



説明文